

常盤北小 コミュニティ・スクールだより

第5号 令和5年12月4日 さいたま市立常盤北小学校

～ 第2回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を開催しました ～

令和5年11月20日（月）、常盤北小学校において今年度 第2回「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」を開催しました。これは、地域の方々や保護者等が学校運営に直接参画し協働して子どもたちの健やかな成長を支えていく取組です。今回は、本校の児童の様子について「全国学力状況調査」等の結果をもとに説明を行い、併せて動画を使用し今年一年間の児童の様子を紹介しました。その後、コミュニケーション力育成のための「あいさつ運動」を進める中で、「学校」、「家庭」、「地域」の三者それぞれの立場でより一層の具現化に向けて「熟議」を行いました。

〔第2回学校運営協議会の熟議内容〕



○学校の取組、提言

現在、教職員とPTA、地域ボランティア等の協働で、校門前や地域等で「あいさつ運動」を実施しています。また、2学期に6年生の「道徳」の授業で児童が討議し、朝会や校門前・常盤中学校角の交差点等で毎朝「あいさつ運動」を実施しています。さらに、他の学年でもあいさつの大切さを考える傾向が見えてきています。3学期は、常盤中学校と合同で「あいさつ運動」の実施を計画しています。

○家庭の取組、提言

家庭内で積極的に朝、夕、睡眠前のあいさつを交わしています。また、日常で積極的な声掛け、会話をを行い、児童にコミュニケーションへの自信をもたせ、「あいさつ運動」へつなげたいと思います。なお、児童は安心できる相手にはあいさつをし易いと思います。児童は相手を見極めており、あいさつの回数や声の大きさに浸透したかの判断は避けたいと思っています。

学童クラブ内では、あいさつの意義・大切さを話し合っています。



○地域の取組、提言

自治会、子ども会等の行事で、児童と互いの顔が見える関係づくりを大切に「あいさつ運動」へつなげたいと思います。併せて、住民同士の顔が見える関係づくりを広げて行きたいと思います。また、祭りや催しの中で児童の良いところを褒めることで、自信をもたせる活動を考えてみようと思います。

なお、児童の段階であいさつの大切さを教えておくことで、潜在意識として残り、大人になってあいさつができることもあると思います。

○委員長からの提言

「あいさつ運動」の啓発ポスターを、例えば自治会や子ども会単位で製作し、道路に面した所や掲示板等へ掲示して 地域で「あいさつ通り」、「あいさつ運動実施中」等の啓発活動を、地域全体に見せてはどうか。ポスターの図案は児童の絵が心に沁みる(広がりをもつ)ので活用してはどうだろう。

以上、限られた時間でしたが、子どもたちのコミュニケーション力育成のための「あいさつ運動」の具現化について活発な意見交換がなされ、「学校」、「家庭」、「地域」の三者が協働し、取組を継続していくことを確認しました。



<今後の予定>

～ 6年生有志による朝の「あいさつ運動」～

第3回学校運営協議会は令和6年2月20日(火)に、常盤中学校で常盤中学校・常盤北小学校・常盤小学校の三校合同で開催予定です。

<常盤北小学校の学校運営協議会委員>

- 会 長 志水 正 様 (北浦和5丁目自治会長、青少年育成常盤地区会会長)
副会長 荒田 貴子 様 (常盤北小学校PTA 会長)
委 員 河田 和夫 様 (常盤北小学校施設開放委員会管理指導員)、柴田 房雄 様 (元小学校長)
鶴田 照恵 様 (チャレンジスクール コーディネーター)、五味 滋子 様 (民生児童委員)
大島 美恵子 様 (常盤北保育園園長)、坂井 顕子 様 (常盤北児童クラブ施設長)
夫 慧子 様 (常盤北小学校PTA 副会長)、島 純子 様 (常盤北小学校PTA 副会長)
鋒城 真子 様 (常盤北小学校PTA 副会長)
財部 幸樹 (校長)、遅澤 麻奈美 (教頭)、秦野 昌明 (学校地域連携コーディネーター)